

第2回大津町振興総合計画等評価委員会資料

目次

2	力強く自立した農工商併進のまちづくり			頁
2-1	農業の振興			
2-1-1	農業生産基盤（農業用水路）の整備	経済部	農政課	1
2-1-2	農業生産基盤（土地改良事業）の整備	経済部	農政課	4
2-1-3	経営感覚に優れた農業経営の推進	経済部	農政課	7
2-1-4	地域に適した農畜産物の生産と流通対策の推進	経済部	農政課	10
2-1-5	地域と環境に配慮した農業の推進	経済部	農政課	13
2-1-6	農地の保全と有効活用の推進	農業委員会		16
2-2	林業の振興			
2-2-1	林業基盤の整備	経済部	農政課	19
2-2-2	森林が持つ多様な環境の保全と活用	経済部	農政課	22
2-3	商業の振興			
2-3-1	商業環境基盤の整備と活性化の支援	経済部	商業観光課	25
2-5	観光の振興			
2-5-1	観光施設の整備	経済部	商業観光課	28
2-5-2	観光資源の開発とイベント振興	経済部	商業観光課	31
3	未来を拓くふるさとづくり			
3-9	国際交流事業の推進			
3-9-1	国際交流の推進	経済部	商業観光課	34
4	魅力的で快適な生活環境づくり			
4-5	公園・緑地の整備			
4-5-1	安全・安心な公園の整備	経済部	農政課	37

平成25年度 基本事業評価調査

基本事業名	2 - 1 - 1	農業生産基盤（農業用水路）の整備		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施策	2 - 1	農業の振興	担当者	高橋 和秀

基本事業を取り巻く現況と課題

農家戸数の減少、混住化等の進展に伴う集落機能の低下や、高齢化に伴い農業用施設の維持保全機能の低下や老朽化が心配される状況にあります。併せて流域の宅地化のため流出量が増加し、未整備区間の土水路の法面の崩壊等が各所に見られており、農業経営に支障をきたしているため、農家だけでなく地域ぐるみでの維持・保全を図り、農業用資源の長寿命化を図る必要があります。

また、町内の土地改良区についても今後離農による組合員の減少が予測され、土地改良施設の維持管理においても小土地改良区のみでは管理ができない状況になるため、合併による組織の規模拡大を図る必要があります。

基本事業の目標

農業用水路の護岸整備、改修、遠隔監視システムの導入、取水口の電動化を図ることにより、農業生産性の安定向上と維持管理の効率化、省力化ができる。

農業用施設の維持保全活動を地域ぐるみで継続して行うことにより、安定的な農業経営や施設の長寿命化ならびに地域振興ができる。

土地改良区の合併により、計画的な農業用施設の適切な維持管理が図られ、農家負担の軽減ができる。

構成事務事業

事務事業名	・県営上井手・下井手地区かんがい排水事業 ・農業用施設資源保全事業（農地・水・環境保全向上対策事業） ・大菊土地改良区助成金 ・土地改良施設維持補修 ・土地改良事業補助金			
-------	---	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
105,673 千円	71,667 千円	47,536 千円	11,712 千円	1,800 千円	3 千円	34,021 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
H25年度	上井手の整備延長	目標値	単位:m					2855	実績値は、平成24年度末の数値です。 上井手水路は2855mを計画しています。
		実績値		2129	1508	2129	2579		
		達成度		74.6	52.8%	74.6%	90.3%		
成果指標②	下井手の整備延長	目標値	単位:m					2325	実績値は、平成24年度末の数値です。 下井手水路は2325mを計画しています。
		実績値		1420	844	1420	1899		
		達成度		61.0	36.3%	61.0%	81.7%		
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 熊本県が事業主体で行っている。 当初の計画では、上井手が平成20年度から平成25年度、下井手が平成21年度から平成26年度までの計画であったが、1年間延長された。 早期完成に向け用地契約を先行して行わなくてはならない。	『今後の課題と取り組み方針』 用地買収を先行し、いつでも工事着手ができる体制を整える方針である。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
これまでは国庫補助金が減少していたが、24年度経済対策で予算が付き、25年度に繰り越して事業を行い、25年度においても予算措置され、事業を行う予定である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-1	大菊土地改良区助成金	農政課	大菊土地改良区に維持管理に対する事務費等の補助を行い、適切な維持管理に努める。	3,330
2-1-1	農地・水保全管理支払交付金事業	農政課	少子高齢化、混住化等の進展に伴う集落機能の低下により、農業用資源の適切な維持・保全が困難になってきている。そのような中で、農業用資源が本来有する自然循環機能を維持・増進することへの国民の期待が増大している。このため、資源の良好な維持・保全を図る地域ぐるみの活動を支援する。	33,163
2-1-1	上井手・下井手地区営かんがい排水事業負担金	農政課	上井手・下井手水路の土水路等の未整備区間を改修し、併せて、用・排水管理の省力化を図ることを目的とした遠隔監視システムの導入、ゲートの電動化を図る本事業を、熊本県が事業主体となって整備をする。	5,000
2-1-1	土地改良施設維持補修	農政課	区役等の機会に町が材料費等を支給することで土地改良施設等の整備を図る。また土地改良区がなく区役等で農業用施設の補修が困難な箇所の工事等を行う。	3,043
				44,536

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 1 - 2	農業生産基盤（土地改良事業）の整備		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施 策	2 - 1	農業の振興	担当者	菊池英二

基本事業を取り巻く現況と課題

農業用機械の大型化が進んでおり、圃場や農道が狭いところでは、大型機械が使用できず農作業の効率が上がらない状況になっています。そのため、圃場や農道を広くすることにより農作業の効率を上げることが課題となっています。

現在、県営迫井手地区圃場整備事業においては、平成26年度完了に向けて進行中です。工事等の進捗が遅れないよう予算を確保することが重要となっています。

また、矢護川水田地区においては、農業生産能力や作業の効率を上げるためには、圃場整備事業は重要なことです。推進においては、受益者の同意、集落営農の体制づくりにおいて課題はあるものの、推進委員等により検討を重ね、新規事業として採択できないか進めているところです。

基本事業の目標

事業において、地区内の圃場整備により農道や圃場が広くなり、用排水路も改修されるため、農作業の効率が上がり、生産量が増大し、安定している。

構成事務事業

事務事業名	- 県営迫井手地区圃場整備事業の水田基盤整備の早期完了（平成26年度完了予定） - 矢護川地区圃場整備事業の事業同意推進					
-------	---	--	--	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
50,632 千円	24,595 千円	143,540 千円	45,235 千円	900 千円	84,000 千円	13,405 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
		単位:ha						
成果指標①	迫井手地区圃場整備の整備面積（面工事）	目標値					60	面工事は平成23年度に完了したが、今後平成26年度に換地処分できるよう、確定測量、幹線道路の整備等重要な項目を残すところとなっています。
		実績値	60	60	60			
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標②	矢護川地区圃場整備の整備面積（面工事）	目標値					80	受益者の同意、集落営農の体制など課題はあるものの推進委員等により検討を重ね、新規事業として採択できないか進めています。
		実績値	0	0	0			
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	C
『目標達成状況に対する総合的所見』 1．迫井手地区圃場整備 ハード事業では面工事は完了し、現在、道路や水路等の工事を残すところとなった。ソフト事業では農地の集積、相続関係の同意等を進めている。 2．矢護川地区圃場整備事業 推進委員会を中心に事業内容の検討、営農の方向性などを話し合いながら進めています。		『今後の課題と取り組み方針』 1．迫井手地区圃場整備 今後、確定測量関係の同意を取り、平成２６年度には換地処分を行い完了の予定です。 2．矢護川地区圃場整備事業 推進委員会により進めてきましたが、同意徴収に至っていないため、本年は地元説明会を開催し、地元の事業意向と兼ね合い調整を図っていきます。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	C
県営迫井手地区圃場整備事業におきましては、平成２３年度に面工事は終了し、今後、幹線道路・排水路の整備及び農道等の整備を進めています。迫井手地区は、法人型の圃場整備事業です。農地集積による生産性の高い農業ができるよう農事組合法人が設立されました。平成２６年度に換地処分を行い、完了の予定です。 また、矢護川地区圃場整備事業におきましては、推進委員会を中心に推進を行い、地元の同意が取れるよう進めています。							
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-2	圃場整備費	農政課	県営圃場整備及び畑総整備地区の各種負担及び、受益者からのさまざまな要望に対して検討し、対応する。	122,388
2-1-2	護川土地改良区助成金(補助金)	農政課	護川土地改良区事務局の事務運営が円滑に行われるよう助成するものである。	700
2-1-2	迫井手地区担い手育成基盤整備関連流動化促進事業	農政課	圃場整備を進めるため、圃場整備の地元委員を中心とし、事業により集積の拡大を図る。	939
2-1-2	迫井手土地改良区助成金(補助金)	農政課	県営圃場整備事業の推進と農業経営の合理化と農業生産の増加を図る。	200
2-1-2	迫井手地区県営農業生産法人等育成緊急整備事業	農政課	平成20年度から県営圃場整備事業開始、受益面積が約60haで平成26年度完了に向けて推進している。また、事業費については、地元負担を軽減するため、町が3%の負担負担を行う。	19,517
2-1-1	土地改良事業補助金	農政課	地元の行政区が事業主体となり、町から70%の補助を受けて工事を実施する。	3,000
2-1-2	菊池台地総合土地改良事業	農政課	竜門ダム建設の工事償還負担金。	9,648
2-1-2	菊池台地用水土地改良区補助金	農政課	菊池台地用水土地改良区への補助(菊池市、山鹿市、合志市、熊本市、大津町で構成)。	1,893
2-1-2	矢護川地区経営体育成基盤整備事業	農政課	矢護川地区の水田を大区画化し、農道、排水路を整備することによって、大型機械の導入や農地の集積など、担い手農家の経営規模の拡大と生産性の高い農業を目指す。	496
				158,781

平成25年度 基本事業評価調査

基本事業名	2 - 1 - 3	経営感覚に優れた農業経営の推進		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施 策	2 - 1	農業の振興	担当者	田上 克也

基本事業を取り巻く現況と課題				
農業は、気象災害や病害虫などの影響を大きく受けやすいため、他産業と比較して経営が安定せず、所得についても低い現状がみられます。また、最近では急激な円安による生産資材の高騰、T P P交渉開始などの影響により、農畜産物価格が低迷しています。このため高齢化や離農が進展し、地域農業の担い手の確保が難しい現状です。 平成2年に1, 385戸あった農家数は平成22年度には816戸まで減少しています。(2010農林業センサスより)				

基本事業の目標				
地域内の農地をまとめ、リーダーとして意欲と能力のある担い手が各集落に増え、規模拡大により生産力が向上し、生産コストの引き下げが図られ、農業が経営の安定した産業になる。				

構成事務事業				
事務事業名	- 認定農業者等の経営や技術研修等の開催 - 家族協定の締結の推進 - 地域の担い手として、集落営農等組織の支援 - 生産グループ、生産部会等組織活動の支援			
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳	
総事業費	2,772 千円		国県補助金	起債
6,505 千円		7,707 千円	4,798 千円	0 千円
基本事業の成果指標とその目標・実績値等				

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	農業所得の満足度	目標値	単位:%				50	毎年のように農業施策が変わり将来の展望が見通せないうえ、農産物価格低迷、生産資材等の高騰により所得が減少し満足度が低下している。
		実績値	—	10.5	9.2	6.4		
		達成度		21.0%	18.4%	12.8%		
成果指標②	認定農業者の人数	目標値	単位:人				180	基盤強化法に基づく経営改善計画目標は5年となっている。新規の認定はあったものの、高齢化により再更新されない農家もあり認定数が伸び悩んでいる
		実績値	164	161	150	156		
		達成度	91.1%	89.4%	83.3%	86.6%		
成果指標③	家族経営協定の締結件数	目標値	単位:件				35	経営体育成事業の達成項目に家族経営協定を設定したため協定実績が進展した。今後も協定の推進を図る
		実績値	28	28	28	37		
		達成度	80.0%	80.0%	80.0%	105.7%		
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑥		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 急激な円安による生産資材の高騰やT P P の交渉開始で農業は大きな転換期を迎えているなか、本町では自立経営体育成利子補給事業、担い手育成総合支援事業、農業後継者育成事業等により経営感覚に優れた農業者の育成を図ってきた。経営強化基盤法に基づき、5カ年の経営改善計画により経営向上を目指す認定農業者は町農業の根幹である。高齢化も進展しており新たな掘り起こしを行なうとともに、意欲とやりがい、経営改善につながる経営協定数の増加をめざす。	『今後の課題と取り組み方針』 国の農業施策に一貫性がなく、自治体や農業団体のいわゆる「現場」は振り回される感がある。このような中、今後の農政は人・農地プランに位置付けられた認定農家と集落営農組織をを両輪として展開される方向となっている。 本町では、昭和53年度の圃場整備を契機に、2基のカントリーエレベーターの建設、機械利用組合の設立、集落営農組織の設立、認定農業者連絡協議会の設立、集落営農の法人化推進等、先進的な施策を実現してきた。今後も国・県の情報収集に努め、農業関係団体との連携のもと担い手の育成を図ることが大津町の農業、ひいては町政の発展につながるものである。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成24年度から国の新規事業として「人・農地プラン」を集落・地域単位で作成し、1経営体の経営規模を20haから30haになるよう農地を集積した地域の農業の担い手を育成する指針を示しているの、それに合わせたプランの作成を進めていく。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-3	担い手育成総合支援事	農政課	地域農業の担い手育成を図る。	3,218
2-1-3	農業指導費(一般)	農政課	熊本県野菜振興協議会、熊本県花き協会、菊池農業高校後援会の活動経費負担金及び農業振興に関する事務	395
2-1-3	農業後継者育成事業	農政課	就農希望者の円滑な就農及び定着を図るための調査。就農相談や農業後継者が自ら企画する農業研修への助成等。また、独身農業後継者を対象とした交流会の実施。子どもたちの農業への理解促進等。	276
2-1-3	認定農業者協議会	農政課	大津町農業の担い手の中心である認定農業者が、個々の経営改善目標を達成するために先進事例研修等の各種研修や情報交換を実施し、経営の安定向上を図るとともに地域農業の発展と豊で活力ある町づくりに寄与する。	211
2-1-3	自立経営体育成資金利子補給	農政課	農業経営基盤強化促進法に基づく経営改善計画の認定を受けた農業者(認定農業者)が、農業所得の向上と労働時間の短縮等を図るために融資を受けるスーパーL資金について県と町で利子助成をおこなう。	3,597
				7,697

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 1 - 4	地域に適した農畜産物の生産と流通対策の推進		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施 策	2 - 1	農業の振興	担当者	田上 克也

基本事業を取り巻く現況と課題				
大津の農産物は全国的な知名度がまだ低いため、売上が伸び悩んでいます。気象や他産地の生産量の影響による価格変動が大きいので所得が安定していません。 南部水田地帯を中心とした水田農業では主に水稻(325ha)、小麦(287ha)、大豆(175ha)が作付けされています。火山灰土に適した「からいも」は276haの作付で約7,000トンを超える出荷がされ、熊本県内トップの生産量となっています。また、大根、人参の生産も盛んです。畜産については、肉用牛、乳用牛、豚、馬、養鶏で123戸の経営体があります。				

基本事業の目標				
からいも、大根、人参などが大津ブランドとなり県内外に顧客が増える。畜産については、病気も無く、安全安心な畜産物が安定供給されている。				

構成事務事業						
事務事業名	・ 農業振興事業・ 畜産振興補助金・ 水田湛水事業・ 農業振興地域整備計画 ・ 水田農業構造対策事業					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
15, 201 千円	12, 071 千円	14, 155 千円	3, 080 千円	千円	15 千円	11, 060 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	農畜産物認知度	目標値	単位:%					60	からいもフェスティバルをはじめとする各種イベント、ホームページ及び広報掲載で認知度は高まっている。
		実績値	—	73.1	73.4	70.3			
		達成度		121.8%	122.3%	117.1%			
成果指標②	からいもの作付面積	目標値	単位:ha					350	作付け面積は横ばいで推移しているものの、重量野菜のため高齢化による縮小が予想される。また、「しま目」「丸型」等の品質低下も見られる。
		実績値	290	276	276	276			
		達成度	82.8%	78.8%	78.8%	78.8%			
成果指標③	家畜伝染病の発生頭数	目標値	単位:頭					0	県城北家畜保健所及び城北地区家畜自衛防疫促進協議会と実施する巡回指導、定期予防接種等により家畜伝染病の発生はない。
		実績値	0	0	0	0			
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 本町の主要農畜産物は米・麦・大豆、露地野菜（甘藷・大根・人参）、お茶、酪農、肉用牛、養豚がある。平成23年度から取り組んでいる甘藷・大根の輸出も実績が伸びている。今後は他産地との競合もあり周到的な販売戦略が必要となる。重量野菜である露地野菜は高齢化による生産者減少が憂慮される。畜産物は肉用子牛価格は上げ基調であるが飼料・資材の高騰がで厳しい経営状況である。昨年の全国和牛能力共進会では全国8席となり注目されつつある。		『今後の課題と取り組み方針』 平成24年度の全国食味ランキングで県内主要稲品種（ヒノヒカリ・森のくまさん・くまさんの力）が「特A」の評価を受けた。今後は集落営農の法人1本化と平行し、26年度を目標に「くまさんの力（やや早生）」を50%、「あきまさり（晩成）」50%の作付体系を推進する。麦についても製パン性の高いミマミノカオリへの切り替えを行なう。併せて地下水涵養地域のメリットを全面に出し、水の恵とエコファーマー栽培での売れる農産物のブランド化を図る。 畜産物は円安による飼料高騰により厳しい経営下ではあるが、県内初となった全国和牛能力共進会8席の成果を管内に広めるとともに、畜産経営の基本である家畜改良と防疫体制の強化・充実を農業団体とともに推進する					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
大津町の農産物の認知度が上がり、大津ブランドとして定着しつつあると思われる。安定した販売が可能となることで、経営の安定した農業が実践できるよう、大津ブランドの普及を図っていききたい。また、JAの甘藷貯蔵庫施設を活用することで、出荷時期の調整が可能となり、相場が高い時期での販売を進めることで、農家所得の増加を図る。							
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-4	農産振興対策事業	農政課	・流通対策(直売所及び消費者交流等での地産池消推進、輸出展開、新たな販路拡大等) ・環境対策(廃ビ・廃ボリの適正処理) ・持続的農業対策(緑肥作物導入、甘藷ヘリ防除導入他) ・育苗対策(甘藷フリー苗、タバコ苗共同育苗)	2,700
2-1-4	農業振興地域整備計画	農政課	社会情勢の変化に伴い、農地の農業以外への用途変更が生じている。また、農地の基盤整備が進行中である。このような状況の中、優良農地の確保・保全、農地集積の促進を図るため農業振興地域整備計画の策定及び変更を行なう。	994
2-1-4	畜産振興補助金	農政課	優良な素牛、種豚の導入等の助成やイベント等を通じたPR活動、畜産環境対策の実施。	5,230
2-1-4	畜産防疫・畜産一般事業	農政課	関連する団体と共に防疫事業、環境衛生、販売促進等各種畜産事業。	482
2-1-4	水田農業構造改革対策事業	農政課	大津町農業再生協議会を中心に米の生産目標数量の調整を実施し、国の経営安定所得対策のもと自給率向上のための戦略作物の生産振興及び地域農業の振興を図る。	4,749
				14,155

平成25年度 基本事業評価調査

基本事業名	2 - 1 - 5	地域と環境に配慮した農業の推進		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施策	2 - 1	農業の振興	担当者	田上 克也

基本事業を取り巻く現況と課題				
南部の水田地帯は下流域の地下水かん養田であり、水量・水質の保全が必要です。 畜産については、混住化が進む中、悪臭・害虫の発生を極力抑えるよう適正な糞尿処理を行い、畜舎周辺環境に配慮してトラブルのない調和のとれた営農が重要となります。 輸入加工品や輸入農産物の増加に加え、食品表示に対する不安で、食の安全と環境に対する関心が高くなっていますが、地産地消の拠点である直売所での販売高が伸び悩んでいます。				

基本事業の目標				
農家は安全で新鮮な農産物を出荷し、住民はそれを直売所などで容易に購入でき、水田活用で地下水保全がされ、畜産農家は周辺住宅地と調和しながら環境に配慮した畜産経営がされている。				

構成事務事業						
事務事業名	・畜産農家と耕種農家の堆肥と飼料の生産協定による耕畜連携事業 ・地下水保全のための水田湛水事業 ・農地保全のための農地・水・環境保全向上事業 ・エコファーマー認定事業 ・地元農産物の消費拡大のための地産地消推進事業 (事務事業評価調査：山村広場維持管理事業、鳥獣害駆除事業、猪被害防止対策、市民農園事業、ふれあい公園、河川公園、総合交流ターミナル改修、農村資源活用推進事業)					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	交付金		国県補助金	起債	その他	一般財源
61,368 千円	59,695 千円	19,948 千円	3,000 千円	千円	千円	16,948 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	エコファーマー認定農家数	目標値	単位:戸					300	法に基づき知事が認定し、土づくり、減化学肥料、減化学農薬など持続性の高い農業に取り組む。健康志向が高まる中、安心・安全な農産物の生産のため認定数が増加した。
		実績値		270	273	306			
		達成度		90.0%	91.0%	102.0%			
成果指標②	水田湛水の面積	目標値	単位:ha					380	平成24年度については7月の北部九州豪雨のため実績面積が減少した。平成25年度は申請面積であるが新規需要米(WCS)後の水張り増が見込める。
		実績値		319	292	338			
		達成度		83.9%	76.8%	88.9%			
成果指標③	直売所での販売高	目標値	単位:百万円					135	「とれたて市場」は地産地消の拠点として他町村に先駆けて展開されたが、近隣の類似店や量販店の同種コーナー設置により売上が低下している。
		実績値		113	119	119			
		達成度		83.7%	88.1%	88.1%			
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 近年の健康志向ブームもあり、安心・安全がキーワードとなり地産地消の農産物が注目されている。国内大消費地への出荷及び輸出農産物も同様の傾向がみられる。このような背景から土づくり、減化学肥料・農薬など持続性の高い農業に取り組むエコファーマーの認証取得を推進した。また、農産物の生産廃資材及び家畜糞尿は事業活動によって生じる産業廃棄物であることから適正処理が義務付けられており、一元収集や耕畜連携による環境に配慮した農業の振興を図った。	『今後の課題と取り組み方針』 現在の農業環境は後継者不足、高齢化に加え、生産資材・飼料の高騰、T P P 交渉開始等非常に厳しい状況にある。また、混住化による地域との共存の観点や安心・安全な農産物の生産を行なうため環境にも配慮した経営形態でなければならない。 一方、国では新たな所得向上施策として、生産・加工・販売まで行う6次産業化を推進している。観光協会も立ち上がり、地下水涵養地域としての知名度も認知され「水の恵」ブランドも浸透しつつあることから、有利な条件をいかしつつ、関係団体とも連携し農畜産物に物語性を持たせるような新たな販売戦略も推進する。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
環境に配慮した農業は、年々消費者を始め関心が高まっている。生産者もエコファーマー申請を行い環境型農業を実践している。今後、エコファーマー制度や水湛水事業の効果や取り組みを消費者に対して情報発信を行い、まずは一番生産者に近い直売所から消費拡大を図る。また、経営安定対策事業の耕畜連携事業等を活用し、耕種農家と畜産農家の連携により環境に配慮した農業の推進を図る。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-5	山村広場維持管理事業	農政課	山村広場にあるグラウンド、テニスコート、ゲートボール場の維持管理	111
2-1-5	有害鳥獣捕獲事業	農政課	有害鳥獣による甘藷等農作物被害に対処するため、大津町有害鳥獣捕獲隊に対して助成し、イノシシ、カラス等の有害鳥獣を捕獲することにより農家の経営安定に寄与する。	325
2-1-5	鳥獣害防止対策事業	農政課	猪害により農作物に被害が及ばないよう電気牧柵器の設置希望農家へ電気牧柵器設置の補助を行ない、農家の経営安定に寄与する。(2分の1の助成)	550
2-1-5	市民リフレッシュ農園事業(指定管理)	農政課	体験型農業を通じて都市と農村の交流を促進し、地域の活性化及び農業への理解を深める。	250
2-1-5	ふれあい公園維持管理事業	農政課	「岩戸の里」に隣接するふれあい公園は来客のグランドゴルフに利用されている。白川河川公園も来客の散策に利用されていたが、昨年の北部九州豪雨により被災し復旧が困難な状況となっている。定期的な除草、消毒等により維持管理業務を実施する。	1,180
2-1-5	総合交流ターミナル施設改修	農政課	開館後15年を経過し老朽化が進んだ施設設備の計画的改修を行い、町内外の住民の福祉と健康増進を図る。	14,364
				16,780

平成25年度 基本事業評価調査

基本事業名	2 - 1 - 6	農地の保全と有効活用の推進		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農業委員会
施策	2 - 1	農業の振興	担当者	荒木 啓一

基本事業を取り巻く現況と課題									
後継者の減少、高齢化・兼業化で農業をする人が減少しています。また、耕作放棄地の増加や農地転用（住宅など農地以外のものに用途を変更すること）で農地の面積も減少しています。このようなことから、安全で安心な食料を安定的に供給することが難しくなっており、将来的には食料を確保することができなくなる恐れがあります。									
基本事業の目標									
・ 農業振興地域整備計画書に基づく優良農地として守るべき農地を明確化し、有効利用されている。 ・ 担い手への農地集積による農作業効率が向上し農業所得が増加している。 ・ 地域農業の担い手確保により継続的・安定的な食糧供給ができています。									
構成事務事業									
事務事業名		・ 農地パトロール及び農地利用状況調査の実施 ・ 農地の転用違反の改善指導 ・ 農地の利用集積事業の推進 ・ 農地・年金・相続・贈与等、各種相談業務の実施 ・ 定例研修、先進地研修の実施 ・ 農地情報システムの有効活用							
24年度決算額			25年度予算額		左の財源内訳				
総事業費	うち一般財源	国県補助金			起債	その他	一般財源		
8,957 千円		5,203 千円	12,093 千円		4,436 千円	千円	536 千円	7,121 千円	
基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	耕作放棄地の面積	目標値	単位:ha					70	
		実績値	73	71	66	62			
		達成度		98.6%	100.0%	100.0%			
成果指標②	貸借権の設定面積	目標値	単位:ha					470	
		実績値	425	419	420	422			
		達成度		89.1%	89.4%	89.8%			
成果指標③	認定農業者の人数	目標値	単位:人					180	
		実績値	164	161	154	156			
		達成度		89.4%	85.5%	86.6%			
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）		達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 耕作放棄地の面積については、農業委員の指導・仲介等により補助事業も活用しながら、減少の方向に進んでいる。 賃借権の設定については、農業従事者の高齢化に伴う第三者移譲や農業生産法人への移譲による集積を推進している。 認定農農家の数については、人・農地プランの推進により昨年の数を上回ることが出来た。		『今後の課題と取り組み方針』 耕作放棄地の面積については、農地法に基づく利用状況調査により現状を把握するとともに、山林化している農地は耕作の目的に該当しない農地として非農地通知を行う。 農業機械等を用いて再生が可能な農地については、農業委員の啓発等により自主解消及び補助事業の活用を推進する。 賃借権の設定については、農業協同組合の集落営農組合の合併事業に積極的に参画し、担い手が効率的な農業経営を行えるよう支援する。 認定農業者の増加計画については、人・農地プランや農業経営基盤強化促進法の有利性を周知し、新たな農業者の確保に努める。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
外部評価（評価委員会の意見）		達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見							
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている						
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他						

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-1-6	農業委員会費	農業委員会	改正農地法等の適正運用を行なう法令業務、農業・農村代表として地域農業の振興を図る促進業務、農業者の意見を集約し公表・建議・答申を公的代表組織として行なう業務を実施することによる地域農業の振興。①耕作放棄地の解消と発生防止、②転用の適正運用による優良農地の確保、③担い手の育成、④農地情報システムの確立、⑤強化基盤法による農地の集積、⑥研修の実施による委員資質の向上。	12,093
				12,093

平成25年度 基本事業評価調査

基本事業名	2 - 2 - 1	林業基盤の整備		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施 策	2 - 2	林業の振興	担当者	高橋 和秀

基本事業を取り巻く現況と課題

本町は、総面積の約48%を占める4,782haが林野であり、そのうちスギ・ヒノキを中心とした人工林が64%となっています。その大半が戦後植栽した樹齢50年生前後の山林であり、森林資源として成熟し利用の時期を迎えています。しかし、施業集約化や路網整備、機械化の立ち遅れ等による林業採算性の低下等から森林所有者の林業離れが進み、資源が十分に活用されないばかりか、森林の荒廃が進み、水源かん養、災害の防止、自然環境や生活環境保全などの森林が持つ多面的機能の低下が危惧されています。

国は、木材利用と公益的機能の発揮を両立させる「森林・林業再生プラン」の実現に向けた数値目標を「10年後の木材自給率50%以上を目指す」として、森林・林業に関する施策、制度、体制について、抜本的な見直しが行われることになっています。

本町においては、計画的な森林整備に必要な「森林施業計画」の作成率が民有林全体の39%程度と低いため、私有林の施業計画の作成が急務となっています。また、森林計画制度の見直しにより創設された「森林経営計画」の作成が必要です。

基本事業の目標

造林・保育・木材生産のサイクルが持続可能な森林経営ができる。

構成事務事業

事務事業名	・林業関係支出金 ・町有林保育事業 ・森林整備地域活動支援交付金事業 ・私有林間伐促進事業 ・作業道舗装事業			
-------	---	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	補助金		国県補助金	起債	その他	一般財源
58,125 千円	8,826 千円	51,043 千円	14,014 千円	千円	13,951 千円	23,078 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	経営計画数	目標値 単位:団地					6	
		実績値	3	3	3			当初は団地集約化が初めてであったため3団地を目標としたが、平成27年度の目標を6団地とした
		達成度	100	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標②	年間町森林施業計画の実行率	目標値 単位:%					100	年度ごと計画的に実行できている
		実績値	100	100	100			
		達成度	100	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	A	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 ・集約化施業団地数については、早期に達成できた。 ・町有林施業計画については、菊池森林組合に長期施業委託を行ったため100%の達成が見込まれる。	『今後の課題と取り組み方針』 ・集約化施業団地は、現在作成中の経営計画では増やす方向である。 ・町有林施業計画については、長期施業委託により計画的な施業が実施できているため、今後も長期施業委託で取り組みたい。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	A	方向性	A・B・C・D・E	A
近年、森林の持つ多様性が認められてきたこともあり、木材生産を再生可能な資源として、森林環境の適正な維持管理を率先していく方針である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-2-1	林業関係支出金	農政課	林業関係の各種団体や組織などに、負担金や補助金を交付する事務。大規模林道受益者負担金支払いに対する大津町外四ヶ町村共有財産処分事務受託特別会計への繰出金	4,494
2-2-1	町有林保育事業	農政課	ヒノキ378ha・スギ64ha・クスギ34ha・天然林10ha・広葉樹100ha・環境の森90haと町内の全森林面積の10%強を占めている町有林の適切な維持管理(造林、下刈、間伐、枝打など)を行なう。	36,468
2-2-1	森林整備地域活動支援交付金事業	農政課	森林施業計画を作成する際に必要となる「森林情報の収集活動」や森林管理に必要な「施業実施区域の明確化作業」等の地域活動を補助する事業	600
2-2-1	私有林間伐促進事業	農政課	木材価格が低迷を続ける中、自己負担だけでの山林管理が困難な私有林の間伐を促進するために間伐材搬出経費の一部を助成する事業。	8,481
2-2-1	作業道舗装事業	農政課	山林の管理をするために不可欠な作業道舗装を行なう事業。	1,000
				51,043

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 2 - 2	森林が持つ多様な環境の保全と活用		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	農政課
施策	2 - 2	林業の振興	担当者	高橋 和秀

基本事業を取り巻く現況と課題

長期的な木材価格の低迷による森林所有者の森林経営意欲の減退等の理由で森林の荒廃が進み、水源かん養、災害の防止、自然環境・生活環境保全など森林が持つ公益的機能の低下が危惧されており、住民の豊かな自然・生活環境の悪化が課題となっています。

本町では、地下水の保全や自然景観の形成などを目的として、平成6年から5カ年計画で矢護川と俵山の原野100haに広葉樹を植林しました。また、平成16年度からは、「環境の森構想」に基づき、企業・事業所・団体等が、矢護川70ha、俵山17haに広葉樹を植林しており、平成21度には熊本市が5カ年計画で俵山の原野40haに植林を開始しています。

しかし、企業、事業所、団体等と町との協定期間はおおむね3年から15年であり、協定期間完了後は山林の手入れが行われないこととなります。せっかく植樹した広葉樹林の公益的機能の恩恵を十分に受けられないとともに、住民の憩いの場としての利用が困難になる恐れがあります。町有広葉樹林とともに今後の森林管理及び活用方法の検討が必要です。

基本事業の目標

森林の持つ多様な公益的機能の恩恵を十分に受けることができる。

構成事務事業

事務事業名	・森林公園整備事業					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	うち一般財源		国県補助金	起債	その他	一般財源
357 千円	357 千円	406 千円	0 千円	0 千円	400 千円	6 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	森林公園下刈面積	目標値 単位:ha					26.59	
		実績値	26.59	26.59	26.59			森林公園の下刈など維持管理が計画的にできた。
		達成度	100	100.0%	100.0%	100.0%		
成果指標②		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標③		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						
成果指標⑤		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 下刈や施設管理により、自然と語らいができる憩いの場の提供ができた。	『今後の課題と取り組み方針』 多くの住民がいつでも気軽に公園内に入れるように、下刈回数の増加等を検討する必要がある。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	A
森林の持つ多様な公益的機能を果たすために、補助事業を有効に活用して森林整備を行う方針である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-2-2	森林公園整備事業	農政課	大津町の住民等が森林レクリエーションや環境教育の場として活用できるよう高尾野森林公園27haの維持管理と整備を行なう事業。	406
				406

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 3 - 1	商業環境基盤の整備と活性化の支援		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	商業観光課
施 策	2 - 3	商業の振興	担当者	村山龍一

基本事業を取り巻く現況と課題

現状：町中心部商店街の衰退、商店等の閉店や廃業が目立つがバイパス沿線は、大型スーパーや全国チェーン店の集積地となっています。

課題：

- ・中心部商店等の後継者不足、魅力的な個店の進出の推進、消費者ニーズの把握、
- ・新規起業家の誘致
- ・商店街形成の環境整備（助成制度、支援体制の充実）
- ・大津町の事業所1、169件の内、商工会に加入している商店数
平成19年3月末 546件 平成20年3月末 540件 平成21年3月末 549件
平成22年3月末 540件 平成23年3月末 537件 平成24年3月末 520件
- ・大津町の平成21年事業所数 1,261件（平成21年度経済センサス基礎調査より）
平成16年商店数 329件 年間販売額 7,134,060万円
平成19年商店数 284件 年間販売額 6,799,897万円（平成19年度商業統計より）
平成21年商店数 329件 （平成21年度経済センサス基礎調査より）

基本事業の目標

若者が起業して頑張りと、消費者が満足して買物ができている。

構成事務事業

事務事業名	・消費者動向調査 ・大津町中小企業新築店舗改装利子補給
-------	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	補助金		国県補助金	起債	その他	一般財源
11,632 千円	11,632 千円	11,632 千円	0 千円	0 千円	0 千円	11,632 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	H25年度肉付予算
成果指標①	年間商品販売額	目標値 単位：千万円					7,200	実績値は前回調査時の数値です。H9、14、19の調査では減少しており、現在は若干の伸びに留まっている。（年間商品販売額H24年の経済センサス活動調査で実施、未発表。商業統計調査は5年ごとに実施）
		実績値	6,799	6,799	6,799			
		達成度	94.4%	94.4%	94.4%			
成果指標②	商店数	目標値 単位：所					330	実績値は前回調査時の数値です。H9、14、19の調査では減少しており、現在は飲食店などの進出がある。
		実績値	284	284	284			
		達成度	86.1%	86.1%	86.1%			
成果指標③	町中心部商店街の起業件数	目標値 単位：件					7	実績値は、平成25年度に起業予定の件数です。
		実績値	4	2	1	1		
		達成度	57.1%	28.6%	14.2%	14.2%		
成果指標④		目標値						
		実績値						
		達成度						

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 昨年末の政権交代により、経済状況は若干回復傾向にあるものの、中小企業にはまだまだ厳しい状況である。 消費者の動向についても、上向いているものの厳しい状況である。しかし、飲食業については出店がある。 雇用の状況については回復傾向にあり、有効求人倍率についても高くなってきている。	『今後の課題と取り組み方針』 大型店舗の進出により小売店の経営は厳しい状況である。今後は小売店の特徴をいかしながら、商工会や各種団体との連携をとるとともに、町内にある資源を活用しながら中小企業の活性化を図る必要がある。 商工会では、平成24年度から国補助事業（全国展開支援事業）の採択を受け、地場産業の活性化を図るよう、特産品開発・観光開発（フットパス、サッカー）を行っている。平成25年度には不採択になったものの、同様な事業を行えるように県の補助金を受け事業を行っている。また、商工会では、軽トラ朝市などの新たな取り組みが行われている。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
今後の社会情勢や経済状況を参考にしたうえで、各種団体と協力しながら事業を推進する必要がある。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■商店街の活性化 旧国道57号沿いはシャッターが閉まった店舗が多いので、今後、活性化の手立てを考えていただきたい。 ⇒商店はバイパス沿いに移っているが、飲食業は少しずつ増えているので、そこを活かした活性化や中央バス停横に造った交流会館も含めた事業展開を考えている。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-3-1	大津町商工会助成事業	商業観光課	大津町商業者等の経営改善普及事業を積極的に推進するため、大津町商工会へ助成金を交付する。	9,000
2-3-1	店舗改装等利子補給事業	商業観光課	中小企業店舗新築、改装、工場機械及び駐車場設備融資資金を受けた場合、その利子補給を行う。 期 間:返済の属する月から3年間 補給額: 融資額を1,000万円に引きなおして1月から12月までに支払った利子の6割以内予算の範囲内で補給する	232
2-3-1	肥後大津たばこ販売協同組合助成金	商業観光課	肥後大津たばこ販売協同組合の教育研究事業などを積極的に推進するため、肥後大津たばこ販売協同組合へ補助金を交付する。	300
2-3-1	大津町無料職業紹介所	商業観光課	離職者・失業者・求職者・求人者等の相談を受けることにより、求職者を求人者に紹介し雇用の安定・充実拡大を図る。	2,100
				11,632

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 5 - 1	観光施設の整備		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	商業観光課
施策	2 - 5	観光の振興	担当者	村山龍一

基本事業を取り巻く現況と課題				
・上井手沿いの景観整備や町の歴史を活かしたまちづくりが遅れています。 ・自然を活かしたアウトドア活動ができる施設の充実が遅れています。				

基本事業の目標				
・町全体が観光地となる魅力的な町となっている。				

構成事務事業				
事務事業名	・社会資本整備総合交付金			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳		
総事業費	うち 一般財源		国県補助金	起債	その他 一般財源
5,208 千円	4,364 千円	27,787 千円	8,685 千円	千円	2,608 千円 16,494 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等			現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	年間入込客数	目標値	単位:人					3,000,000	九州北部豪雨の影響があり、被災後は観光地への観光客が減りその影響により減少した。
		実績値	2,045,909	1,851,267	2,052,126	1,915,204			
		達成度	68.1%	61.7%	68.4%	63.8%			
成果指標②	ホテル利用者数	目標値	単位:人					300,000	九州北部豪雨の影響があり、被災後は観光地への観光客が減りその影響により減少した。
		実績値	215,000	216,220	243,663	244,182			
		達成度	71.6%	72.1%	81.2%	81.3%			
成果指標③	観光施設の満足度	目標値	単位:%					50.0	まちづくりアンケートの結果では、観光施設の満足度が高くなってきているのは、ビジターセンターなどの施設の充実が考えられる。
		実績値	39.2	38.6	—	46.1			
		達成度	78.4%	77.2%	—	92.2%			
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑥		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 平成24年度当初は、入込者数については順調に推移していたが、7月の九州北部豪雨により、県内に甚大な被害をもたらし、町内では、岩戸の里が直接被害を受け、阿蘇地方の道路やJRが不通となり、観光客が激減した。その影響により、町内の入込者数も減少した。 また、からいもフェスティバルについては、前日の強風や雨により、初めて中止をしたが、雨にもかかわらずいもほり会場には多くの来場者があった。	『今後の課題と取り組み方針』 平成24年度は、災害による入込者の減少があったが、災害復旧が進むにつれて、入込者は戻ってきている。 また、商工会がフットパス事業を行っており、平成24年度は2コース、平成25年度は3コースとしてコースを設定し、着地型観光メニューの開発を進めている。 平成25年3月には「肥後おおづ観光協会」が設立され、各種団体と連携をとりながら大津町の観光振興を行っていく必要がある。					
部長評価（担当課の評価を踏まえた部長の方針）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
町内の歴史や自然を生かした観光や既存の施設や新たにできた施設を活かしながら、大津町として独自の観光事業を展開していく必要がある。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定（見込）以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■交流会館の駐車場 交流会館（町民交流センター）には駐車場がないので、障害者や高齢者の人たち向けに改良を検討していただきたい。 ■ビジターセンター前の待機所の屋根改修（4-4-1『駅周辺の交通システムの整備』にも記載） 施設の工事担当部署から管理担当部署への引継ぎができていない。屋根の改修は早く工事を始めていただきたい。 ⇒関係部署間の連絡は密にしていきたい。屋根の改修はビジターセンター側から屋根を伸ばす方向で県と協議をしている。（都市計画課回答）

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-5-1	日本一のつつじの里づくり事業	商業観光課	つつじの苗を毎年1,000株程度、自治会などの団体に無料で配布し、道路沿線、公園等の公共施設に植栽してもらう。 また、花苗についても町と団体とが費用を半分ずつ負担し、春と秋に各10,000株、併せて20,000株を配布している。	600
2-5-1	弥護山自然公園陽の原キャンプ場管理事業	商業観光課	弥護山自然公園の中で自然に親しみながら、自然から学ぶことのできる教育キャンプ場として設置した。 家族連れや団体客等が自然と触れ合う場を提供している。	3,837
2-5-1	岩戸溪谷施設管理事業	商業観光課	岩戸溪谷周辺を利用する人々を対象に周辺整備を図り、町民や観光客の憩いの場とする。	264
2-5-1	地域活性化事業補助金	商業観光課	社会資本整備総合交付金のまちづくり活動推進事業を利用し、まち交でできた施設を活用して、各種イベントを開催する。	3,000
2-5-1	大津町まちづくり交流センター運営管理事業	商業観光課	平成23年度に中央バス停に物産と各種活動団体の交流拠点として整備が行われ、平成24年4月に、まちづくり交流センターがオープンした。	6,848
2-5-1	大津町ビジターセンター運営管理費	商業観光課	平成23年10月に大津町の新たな玄関口として、大津駅南口に大津町ビジターセンターがオープンした。また、オープンを同時に阿蘇くまもと空港と肥後大津駅を結ぶ無料の空港ライナーも運行を始めている。	13,238
				27,787

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	2 - 5 - 2	観光資源の開発とイベント振興		
施策の大綱	2	力強く自立した農工商併進のまちづくり	担当課	商業観光課
施策	2 - 5	観光の振興	担当者	村山龍一

基本事業を取り巻く現況と課題				
・町の歴史を活かした観光施設等の整備が遅れています。 ・スポーツやイベントが単独事業となっており、連携して集客を得ていません。 ・宣伝・情報の発信機能・組織が充実していません。 ・祭やイベントを行う後継者等の育成が不十分です。 ・「十五夜綱引き・大津の初市」など町の歴史や文化を守り伝えてきた祭りやイベントが諸般の事情により継承できなくなっています。また、実施している祭も他市町村でも類似のものがあ特徴や個性がなく面白くないものでは集客できない状況となっています。 つつじ祭 2万人程度（祭期間中）、からいもフェスティバル 3万人程度				

基本事業の目標				
・住民や観光客が季節ごとに楽しめる祭やイベントがある賑わいの町 ・歴史や文化を活かした歴史探訪観光、着地型観光の創設				

構成事務事業				
事務事業名	・祭り助成金 ・観光協会設立に関する事業 ・広域連携プロジェクト（スクラムチャレンジ）推進事業			

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	補助金等		国県補助金	起債	その他	一般財源
12,002 千円	12,002 千円	21,554 千円	3,620 千円	千円	0 千円	17,934 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント
成果指標①	観光客入込数	目標値	単位:千人					2,000	
		実績値		1,930	1,656	1,784	1,670		九州北部豪雨の影響があり、被災後は観光地への観光客が減りその影響により減少した。
		達成度		96.5%	82.8%	89.2%	83.5%		
成果指標②	宿泊者数	目標値	単位:千人					300	九州北部豪雨の影響があり、被災後は観光地への観光客が減りその影響により減少した。
		実績値		250	217	244	244		
		達成度		83.3%	72.3%	81.3%	81.3%		
成果指標③	祭やイベントの開催件数	目標値	単位:件					6	平成24年度のイベントは、つつじ祭りは午前中は雨で、地蔵祭りは2日間開催し、からいもフェスティバルは強風と雨のため、初めて中止した。天候による影響が大きかった。
		実績値		4	4	4	5		
		達成度		66.6%	66.0%	66.0%	83.3%		
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 平成24年度のイベントは、4月のつつじ祭りは午前中の降雨のため、例年より集客数が減少。8月の地蔵祭りについては、3年ぶりに2日間の開催となり賑わいを見せた。11月のからいもフェスティバルは、前日の強風と雨により始めて中止となった。しかし、からいもフェスティバルのいもほり会場では、雨にもかかわらず多くの方が来場された。	『今後の課題と取り組み方針』 平成24年度に、商工会、J A、宿泊施設、明日観、観光関係者等が中心となって「肥後おおづ観光協会」が設立された。今後の大津町の観光振興を図りながら、町の経済発展に寄与するように事業を展開する必要がある。 また、商工会が行っている地蔵祭りについても、本年度から新たなステージイベントや照明灯の充実を行い、集客につなげている。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	B	方向性	A・B・C・D・E	B
平成24年度にできた「肥後おおづ観光協会」や既存の町内の各種団体と連携をしながら、新たな祭りを創出し観光事業を展開していく必要がある。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■観光協会の組織 設立が進められている町の観光協会は業者さんだけのものではなく、門戸を広げていただきたい。 →現在、設立準備会にお願いして、どこまで団体会員にするのか、個人会員にするのかを検討していただいている。 ■祭りへの支援 町には町内外の人を集める『つつじ祭り』『からいもフェスティバル』、町民参加の『地蔵まつり』の3大行事を後押しして盛り上げていただきたい。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
2-5-2	観光PR事業	商業観光課	観光振興の為のハード施設整備に伴い、それを活用する各種イベントや各種団体活動の活性化を推進する。観光情報の発信強化や新たな地域特産品開発等を進め、観光と交流の活性化を図る。町のサイン計画に基づいた案内板の設置や観光パンフレット配布による誘客を促進する。	164
2-5-2	明日の観光大津を創る会助成事業	商業観光課	「明日の観光大津を創る会」が行うまちづくり事業に関し、企画立案運営実施に係る活動費用(研修・広報事業)などの補助を行い、地域住民が積極的に参加する「ふれあいの中のふるさとづくり」を推進する。	10,000
2-5-2	観光協会助成事業	商業観光課	観光協会を設立し、観光事象への対応の一元化を行うことで、町の活性化を図る。	9,890
2-5-2	大津地蔵祭運営費補助金	商業観光課	大津地蔵祭実行委員会に、住民参加型の祭りの推進と商店街の活性化を目的として、補助金を交付する。	1,500
				21,554

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	3 - 9 - 1	国際交流の推進		
施策の大綱	3	未来を拓くふるさとづくり	担当課	商業観光課
施策	3 - 9	国際交流事業の推進	担当者	村山龍一

基本事業を取り巻く現況と課題				
多くの町民が国際交流を理解し、姉妹都市の歴史や文化・経済各方面での事業内容を充実し促進するようなことができていません。 姉妹都市交流事業や国際交流に関して、幅広く町民が参加する交流となっていません。				

基本事業の目標				
町民が国際交流に関心を持ち国際化に貢献できる				

構成事務事業						
事務事業名	・ 海外派遣助成事業 ・ 国際交流員招致事業（※平成24年度からの新規事業）					
24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	交付金		国県補助金	起債	その他	一般財源
4,934 千円	4,934 千円	3,980 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,980 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等									
成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	外国人の入込客数	目標値	単位:人					1,000	外国人観光客については、中国からは国際事情等により大幅に減少、タイからはレース関係者が減少、マレーシアとシンガポールはレース関係者が増加となる。
		実績値	640	4,657	4,141	2,871			
		達成度	64.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標②	国際交流の推進を重要だと思う人の割合	目標値	単位:%					70	平成24年度より、国際交流員を雇用し国際理解を推進している。国際交流の重要性は認識されているが、目標数値にはいっていない。
		実績値	59	65	—	61			
		達成度	84.2	92.9%	—	87.1%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
『目標達成状況に対する総合的所見』 外国人観光客については、中国からが大幅に減少、韓国からも減少しているが、領土問題を含んだ政治的摩擦の影響があると考えられる。また、タイからの減少、マレーシア、シンガポールから増加については、オートボリス関係者によるものなので、レースの内容により増減している。	『今後の課題と取り組み方針』 平成24年度は、国際交流事業では、例年、アメリカには中高生をホームステイに派遣している。韓国の小学校と交流を行う予定であったが、政治的摩擦により、急遽、交流事業を中止した。今後は、民間の交流や国際事業を勘案しながらアジア諸国との交流事業を展開する必要がある。 平成24年8月より、国際交流員をアメリカの姉妹都市ヘイスティングズから招致し、国際理解を推進している。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	B
今後とも、国際化に対応できる人材の育成し、国際交流を進める事業を展開する必要がある。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
3-9-1	国際交流事業(アメリカ)	商業観光課	姉妹都市アメリカ合衆国ヘイスティングズ市に、町が旅費の半分を負担し、中高生と地域青年リーダーを派遣する。ホームステイを通してアメリカの言語・文化・歴史・生活様式に直接触れる体験してもらう。	2,798
3-9-1	大津町国際交流協会補助金	商業観光課	海外都市交流事業や在住外国人交流事業を積極的に推進するため、大津町国際交流協会へ補助金を交付する。	150
3-9-1	国際交流員招致事業	商業観光課	国際交流員を雇用し、町民の国際交流を促進し、人材育成につなげる。 ・大津町が行う国際交流事業の補助(ガイドブックなど冊子の翻訳／編集、ホームステイプログラムのコーディネーター、外国からの訪問団の受け入れ時の通訳や接待。) ・英語に親しむ活動(外国語講座の講師、幼稚園や保育園など児童との交流、国際交流を希望する団体への派遣。本の読み聞かせなど) ・公務員への語学習得支援、そのほか相談業務を行う。	3,980
				6,928

平成25年度 基本事業評価調書

基本事業名	4 - 5 - 1	安全・安心な公園の整備		
施策の大綱	4	魅力的で快適な生活環境づくり	担当課	農政課
施策	4 - 5	公園・緑地の整備	担当者	高橋 和秀

基本事業を取り巻く現況と課題

本町の公園は、親子連れの遊びの場、青少年の憩いの場、散歩コース、グラウンドゴルフ、スポーツ、ボランティアの場等、身近な公園として広く利用されています。

しかし、設置後15年以上経過した公園も多く、遊具や照明設備を始めとした公園施設の老朽化が進んでいるため、地域住民の安全で快適な公園利用に支障が出始めています。公園施設の健全度調査の実施と調査結果に基づく修繕・改築とともに、「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」に沿ったトイレ・通路等のバリアフリー化が必要です。

また、クスノキ・ケヤキ・イチョウ・サクラ等の大木化・老木化が進んでおり、低層のツツジや芝生に日照不足による障害が出ているため、利用者がツツジの花を楽しんだり、芝生でくつろいだりできなくなる可能性があるため、枝打等を実施しているが、今後も大量の落ち葉や倒木対策にも予算が必要になり、住民の公園への経費負担が増加する恐れがあります。

基本事業の目標

安全・安心な公園を憩いの場・交流の場として快適に利用できる。

構成事務事業

事務事業名	・町立公園等管理委託事業					
-------	--------------	--	--	--	--	--

24年度決算額		25年度予算額	左の財源内訳			
総事業費	補助金		国県補助金	起債	その他	一般財源
46,611 千円	46,587 千円	54,267 千円	4,500 千円	千円	24 千円	49,743 千円

基本事業の成果指標とその目標・実績値等

成果指標等		現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	達成度に対する担当課コメント	
成果指標①	公園が安全と思う人の割合	目標値	単位: %					100	実績値は、地域の公園が安全に利用できると思う人の割合です。（18歳以上住民対象アンケート）安心して利用してもらえるよう努力が必要。
		実績値	—	46.6	62.7	53.4			
		達成度		46.6%	62.7%	53.4%			
成果指標②	公園を交流の場と思う人の割合	目標値	単位: %					70	実績値は、地域の公園は住民の方の交流の場になっていると思う人の割合です。（18歳以上住民対象アンケート）安心して交流してもらえるよう努力が必要。
		実績値	—	27.8	42.1	38.2			
		達成度		39.7%	60.1%	54.6%			
成果指標③		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標④		目標値							
		実績値							
		達成度							
成果指標⑤		目標値							
		実績値							
		達成度							

担当課評価（達成度の確認と分析）	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	A
『目標達成状況に対する総合的所見』 ・公園が安全であるという人の割合が低い ため、原因の調査が必要である。 ・公園を交流の場と考える人は目標値に達し ていないため、今後も努力が必要である。	『今後の課題と取り組み方針』 ・アンケート調査によると公園内に樹木が生い茂り視界が悪いという意見が多く、昨年度も一部の公園内高木を伐採しているが、今後も計画的に伐採して視界が広がるよう維持管理に努める方針である。 ・公園を安心して利用して、交流の場となるように今後も遊具等の定期的な調査を行い、緊急性のあるものから修繕等を行っていく。					
部長評価(担当課の評価を踏まえた部長の方針)	達成度評価	A・B・C・D	C	方向性	A・B・C・D・E	A
管理すべき公園の数が増加しているが、町民の安らぎ、憩いの場としての公園になるよう適切な維持管理に努める方針である。						
外部評価（評価委員会の意見）	達成度評価	A・B・C・D		方向性	A・B・C・D・E	
・基本事業の達成状況、今後の方向性や改善策、成果指標、事務事業などに関する意見						
達成度	A：予定(見込)以上 B：ほぼ予定どおり C：やや遅れている D：大幅に遅れている					
方向性	A：充実又は拡大 B：現状 C：縮小又は見直し D：廃止又は休止 E：その他					

前年度 評価委員会の意見
■親水公園の管理 親水公園の水辺空間の水車は壊れて基礎部分だけが残り観光的にもマイナス影響を与えている。水車を維持管理できないのであれば、基礎部分を外すなどきちんと処理すべきではないか。

平成25年度 事務事業一覧

(単位:千円)

施策の 体系	事務事業名	所属	事務事業の内容	H25年度 肉付予算
4-5-1	上井手公園	都市計画課	上井手沿いに公園を整備する。整備内容:トイレ・ベンチ・水飲み場・東屋等	5,100
4-5-1	肥後大津駅北口駐輪場	都市計画課	JR肥後大津駅北口における既存の駐輪場の整備	15,100
4-5-1	町立公園等管理委託事業	農政課	利用者が気持ちよく公園を利用できるよう、町立公園などの除草、植栽の剪定や清掃を行なう事業。 管理委託及び整備事業と合体	54,267
				74,467